

国家基本政策委員会合同審査会ニュース

H27. 6. 17 第189回国会第2号

6月17日（水）、第2回の合同審査会が開かれました。

1 国家の基本政策に関する件

・岡田克也君（民主）、松野頼久君（維新）及び志位和夫君（共産）が、安倍内閣総理大臣と討議を行いました。

（討議者及び主な討議内容）

岡田克也君（民主）

- ・政府は集団的自衛権の行使を容認する理由として我が国を取り巻く安全保障環境の変容を述べ、また集団的自衛権の行使が必要とされる状況としてホルムズ海峡における機雷掃海を挙げているが、ホルムズ海峡の例ではどのような安全保障環境の変容があったのか。
- ・重要影響事態にどのような要素が加わると存立危機事態となるのか明確にして欲しい。
- ・閣議決定で憲法解釈を変更する前例を作ったことで、現在は違憲とされている徴兵制が将来的に憲法解釈の変更により正当化される可能性があるのではないか。

安倍内閣総理大臣

- ・先週の厚生労働委員会における民主党の対応についての認識を伺いたい。
- ・朝鮮半島有事における、警戒監視に当たっている米艦を防護する必要性の有無についての見解を伺いたい。

松野頼久君（維新）

- ・安保法制を見直す理由について、安倍総理が本年4月の米国議会における演説では世界の平和と安定を強調し、5月の記者会見では日本国民の命と平和な暮らしを守ることを強調していることの整合性について伺いたい。
- ・2013年の参議院議員通常選挙を違憲状態とし、都道府県単位の現行制度の見直しを付言した最高裁判決（2014年11月26日）に対する評価を伺いたい。また、来年の参議院議員通常選挙を新しい選挙制度の下で実施する意思があるのか確認したい。

志位和夫君（共産）

- ・自衛隊が行う他国の軍隊に対する後方支援について、他国の武力行使と一体でない場合に関する国際法上の概念があるのか伺いたい。